

平成 28 年度

健康部

保健所の運営方針

<健康部 保健所の構成>

保健企画課、保健衛生課、保健予防課、保健センター

<担当事務>

- (1) 健康増進に関すること。
- (2) 医事及び薬事に関すること。
- (3) 食品衛生・環境衛生に関すること。
- (4) 狂犬病予防、動物の愛護及び管理に関すること。
- (5) 感染症及び難病の対策等に関すること。
- (6) 精神保健に関すること。
- (7) 母子保健に関すること。

<部の職員数>H28年4月1日現在

正職員	113名
再任用職員	-名
任期付職員	1名
非常勤職員	65名
合計	179名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

保健所では、市民の健康づくりに関わる業務を一体的に取り組むとともに、医事・薬事、食品衛生、環境衛生、感染症予防、精神保健、難病支援等のさまざまな公衆衛生に関わる専門的な業務を担っています。

市域の保健衛生行政の中核となり、市民の健康増進と生活の安全・安心の確保に努め、総合的な保健衛生サービスを推進することにより、市民の健康寿命の延伸をめざします。

2. 重点施策・事業

(1) 健康・医療に関する電話相談窓口の設置

重点施策・事業 における目標	市民の健康・医療に対する安全・安心を確保するとともに、多様化・高度化する市民ニーズに随時対応するため、健康・医療に関する電話相談窓口（医師・保健師・看護師等が24時間対応）を設置します。相談内容としては、医療、健康、介護や出産育児などが対象となります。
平成28年度の 取り組み	健康・医療に関する電話相談窓口の開設に合わせて、広報等による周知を行うとともに、チラシ・マグネットシートを作成し、全戸配布します。また、FM ひらかたによる案内や本館1階及び別館2階待合スペースでの情報発信等、積極的な周知活動を行います。
	平成28年度当初予算：32,440千円

(2) 地域保健・公衆衛生分野における災害対策

重点施策・事業 における目標	地域保健・公衆衛生分野における災害対策について検討を行い、地域防災計画の見直しをはじめ、体制の整備を行います。
平成 28 年度の 取り組み	保健所に「地域災害医療本部」を置き、災害時の地域保健・公衆衛生分野における拠点となるよう、体制の整備を図ります。また、関係部署と連携し、大規模災害発生時における保健所及び保健所職員の役割を明確にするとともに、マニュアル整備や訓練を実施します。

(3) ヘルシーメニューの開発支援

重点施策・事業 における目標	日々の生活の中で、栄養・食生活分野は、がん、心疾患、脳卒中、糖尿病等多くの生活習慣病との関連が深くなっています。一方、本市が実施したアンケート調査によると、外食への依存傾向がみられました。そこで、食を取り巻く環境の改善が食生活面からの個人の健康づくりにつながることから、飲食店に対して啓発を行い、ヘルシーメニューの提供を通じて健康づくりの推進を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	今後、市内飲食店で提供していただくヘルシーメニューの基となる本市独自の基準を策定します。策定にあたっては、メニュー開発に協力をいただく飲食店とともに基準づくりを進め、飲食店や利用者からの意見を参考に策定します。
	平成 28 年度当初予算：114 千円

(4) 「ひらかた健康優良企業」登録制度の創設

重点施策・事業 における目標	本市の人口動態統計（H26）によると、20～64 歳の死亡原因の一番はがんで、次いで心疾患、自殺の順となっており、働く世代に対する生活習慣病予防や自殺対策のさらなる取り組みが求められています。本市内の事業所においても、生活習慣病やメンタルヘルス等の課題を抱えている従業員が多く、従業員に向けた健康に関する情報や健康教育を求める声が多いことがわかりました。そこで、そうしたニーズを持つ事業所に直接的な支援を行うことで、働く世代の健康づくりを推進します。
平成 28 年度の 取り組み	「ひらかた健康優良企業」登録制度を創設し、登録された事業所に対して、働く世代をターゲットにした健康に関する情報発信や、事業所向けの健康教育の実施のほか、企業経営と従業員の健康管理に関する講演会の案内を行うなどの支援を行います。
	平成 28 年度当初予算：191 千円

(5) 食中毒など健康危機事象発生の未然防止

重点施策・事業 における目標	安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や理美容所などの生活衛生施設における衛生水準の向上を図り、健康危機事象発生の未然防止をめざします。
平成 28 年度の 取り組み	食の安全・安心への関心が一層高まる中、食品等事業者へ HACCP（ハサップ）による衛生管理の手法を普及・啓発し、食中毒などの健康危機事象発生の未然防止に努めます。
	平成 28 年度当初予算：12,489 千円

(6) こころの健康づくりの推進

重点施策・事業 における目標	身近にこころの相談ができる体制づくりや、疾患の初期段階から適切な相談や支援につなげるためのネットワークづくりを行うことでこころの健康づくりの推進を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	専用電話によるこころの健康相談及びモバイル機器を活用したメンタルチェックシステム「こころの体温計」を通して、こころの健康づくりの啓発に努めます。また、健康医療都市ひらかたコンソーシアム参画団体で構成するこころの健康増進部会を中心に、相談から適切な支援につなげるための包括的ネットワークの構築をめざします。
	平成 28 年度当初予算：247 千円

(7) 難病対策の推進

重点施策・事業 における目標	難病患者やその家族が地域で安心して過ごせる在宅療養環境を整備します。
平成 28 年度の 取り組み	健康医療都市ひらかたコンソーシアム参画団体で構成する枚方市難病対策分野神経難病対策医療ネットワーク部会を通して、関係団体と情報を共有し、在宅難病患者が抱える地域医療の課題に取り組みます。
	平成 28 年度当初予算：7,165 千円

(8) 歯科口腔保健の推進

重点施策・事業 における目標	歯と口腔の健康が、全身の健康の維持・増進にも極めて重要な役割を果たすことが指摘されています。
	市民の健康寿命の延伸をめざす観点から、乳幼児期から高齢期までの、生涯にわたる歯科口腔保健施策の更なる推進を図ります。

平成 28 年度の 取り組み	大阪府内で初めとなる口腔保健支援センターを設置するとともに、後期高齢者歯科健康診査の無料化や 2 歳 6 か月児へのフッ化物塗布などを実施するなど、歯科口腔保健の推進を図ります。 平成 28 年度当初予算：32,088 千円
-------------------	---

(9) 妊娠・出産から子育て期までの支援の推進

重点施策・事業 における目標	安心して楽しく子育てできるまちの実現に向け、妊娠・出産から子育て期にわたる切れ目のない支援策を充実させます。
平成 28 年度の 取り組み	妊娠届出時にすべての妊婦を対象とした保健師等による面接を行うとともに、地域を担当する保健師の名前及び相談先を記載したマグネットを配付します。あわせて、母子保健コーディネーターの配置日数を拡充します。また、不妊治療における初回分の助成額を引き上げるとともに、新たに男性不妊治療の助成を実施します。 平成 28 年度当初予算：491,014 千円

3. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
2. 来庁者・利用者用駐車場の有料化の実施	保健センターと市立ひらかた病院の駐車場を「来庁者・利用者用駐車場の有料化に関する考え方」に基づき、平成 28 年 8 月から有料化の開始をめざす。

(2) 業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
相談業務の検証	健康・医療に関する電話相談窓口の設置に伴い、所内で実施している既存の各種相談業務について、相談件数の推移などを踏まえ、運営方法等の検証を行う。

4. 予算編成・執行

- ◆感染症予防対策、難病患者の在宅療養支援、がん検診の推進などの取り組みについて、感染症予防事業等国庫負担（補助）金を活用し、効果的な事業の運営を図ります。

5. 組織運営・人材育成

- ◆より質の高い地域保健サービスが求められる中、保健師の専門能力の向上を目的に、保健師人材育成ガイドラインに基づき、保健師の組織的・計画的な人材育成の体制を構築します。

6. 広報・情報発信

- ◆FM ひらかたを通して市民の暮らしや健康に役立つ様々な情報を発信するとともに、放送内容をホームページに掲載することで市民に広く周知を行います。
- ◆従業員の健康づくりに積極的に取り組む市内事業所を対象に、生活習慣病予防やメンタルヘルス対策などの働く世代が抱える健康課題に関する情報を掲載した「保健所つうしん」を発行し、事業者による健康増進活動を支援することで、働く世代の人々の健康の保持・増進を図ります。